

別記様式（第7条関係）

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年5月10日（水） 19時00分 ～ 21時00分	
開催場所	神立地区コミュニティセンター集会室	
出席議員	司会者	小坂 博（総合司会）、勝田達也（意見交換の司会）
	報告者	平石勝司、井上圭一、勝田達也
	記録者	篠塚昌毅
		<p>総務市民委員会（6名）                      篠塚昌毅、今野貴子、久松猛、海老原一郎、平石勝司、島岡宏明</p> <p>文教厚生委員会（7名）                      柳澤明、井上圭一、福田一夫、荒井武、鈴木一彦、下村壽郎、塚原圭二</p> <p>産業建設委員会（9名）                      吉田千鶴子、勝田達也、内田卓男、竹内裕、川原場明朗、寺内充、矢口清、柴原伊一郎、小坂博</p>
参加人数	43名	
実施内容	<p>1. 常任委員会で審議した平成29年度主要事業の報告</p> <p>（1）総務市民委員会</p> <p>①水郷筑波サイクリングロード環境整備事業                      ②囷入り土浦ナンバー策定事業                      ③一般廃棄物有料化事業</p> <p>（2）文教厚生委員会</p> <p>①公立保育所民間活力導入事業                      ②健康増進事業（胃がんリスク検査）                      ③認知症施策推進事業</p> <p>（3）産業建設委員会</p> <p>①田村沖宿線延伸道路事業                      ②神立駅西口地区土地区画整理事業                      ③神立停車場線街路事業</p> <p>2. 市民との意見交換</p>	

(意見(提言)の要旨を記載)

Q : 市民からの意見・提言等

A : 議会の回答

### 1. 高齢者人口について

Q 4月に防災無線で行方不明の方を探していた。一人暮らしの人がいなくなったら探すのは遅れてしまうだろうと思う。土浦市で70歳以上の一人暮らしの人はどのくらいいるか。

A 防災行政無線で行方不明の方の情報が流れ、無事保護させられたことが流れたと安心する。70歳以上の一人暮らしの方については、今、詳しい資料がないが、65歳以上の一人暮らしの方は、4月1日現在で、男性799人、女性1,979人であり、65歳以上で施設に入所していない在宅者で症状が中程度以上の認知症の方は、男性が985人、女性が1,944人となっている。今後も認知症対策を含めて高齢者を見守るための施策を検討していく。

### 2. 工業団地の造成について

主な意見  
・提言等

Q 図書館や野球場など大規模な事業が続くので、土浦市の財政は大丈夫なのかと不安になる。将来的な土浦市の財政を考えた場合、歳入の面を考えなくてはならない時期に来ているのではないかと思う。歳入を得るために工業団地を造成して、優良企業を誘致してはどうか。

A おおつ野地区のような一部準工業地域の土地は残っているが、現在、土浦市に設置されている工業団地は全て完売している状態である。財源確保の施策として、大規模開発は大きな施策と考えられるので、今後、執行部とともに検討していく。

### 3. ごみ問題について

Q1 ごみの有料化が始まると不法投棄などいろいろな問題が出ると思われる。対策も検討されていると思うが、家庭、町内、企業などと協力することが重要ではないか。来年10月から始まる有料化事業を家庭などにどのように浸透させるか教えていただきたい。

A1 ごみの問題というのは皆さん一人ひとりが確実に実施していただかなければ解決していかない問題である。有料化事業に関しては6月からパブリックコメントを実施するので、皆さんからのご意見をいただき、より良いごみ減量の対策を推進していく。

Q2 ごみの減量をするためには、ごみ自体を少なくすることを考えなくてはいけないと思う。企業にごみを少なくしてもらうことを真剣に考えていただかないと益々ごみは増えると思う。

A2 企業との協力体制は重要だと思う。レジ袋は、企業に協力をしていただき有料化をしてごみの減量を図った。今後も、過剰な包装は控えるなどの働きかけを行い、企業との協力体制を整えられるように検討していく。また、各地域のさわやか環境推進委員や環境問題関係の委員からの意見をいただき、より良い施策を考えていく。

#### 4. 固定資産税の前納報奨金について

Q 固定資産税の支払いの件で、前納報奨金が廃止になるチラシが納付書に入っていたがなぜこのようになったのか。

A 前納報奨金制度は、税金を早く収納しようということと納税意識を高めるのが目的で始まった。廃止については、前納ができる方とできない方との税の公平性に欠ける点があるので、前納報奨金制度の額を徐々に減らし、来年度からは廃止させていただく。

#### 5. 市営球場について

Q 市営球場のオープンはいつになるか。オープンの時のセレモニー的な試合はやるのか。

A 市営球場のオープンは7月1日で、高校野球の予選に間に合うような日程で進んでいる。オープンイベントとして、土浦一高対土浦三高の試合が行われる。楽しみにしていただき、一人でも多くの方に観戦願えればと思う。

#### 6. 公立保育所の民間導入について

Q 公立保育所が民間活力導入事業によってすべて民間になるということだが、保育内容など全ての保育業務を任せるのではなく、市としても責任をもって管理していただきたい。

A 現在、年に1回の監査をしている。今後は運営実績ができるまでは年に数回の立ち入り調査をするなどを委員会として提案し、検討していく。

主な意見  
・提言等

主な意見  
・提言等

## 7. 保険料について

Q ジェネリック薬品を使って保険料を抑えるように「ジェネリックの都市土浦」でPRしてはどうか。公的扶助を受けている方の中にはジェネリック薬品以外の薬を使用している話を聞くが、実態調査をしていただきたい。

A 保健福祉部でもジェネリック薬品を積極的に使う働きかけをしている。実態調査については保健福祉部に依頼している。

## 8. 寄附講座について

Q 寄附講座について、協同病院でも霞ヶ浦医療センターのような寄附講座を実施していただき、さらなる高みを目指すようお願いしたい。

A 霞ヶ浦医療センターは寄附講座が始まってから格段に充実したと思う。委員会でも年に1回程度土浦医師会との勉強会を開催しているので、地域医療の現状を踏まえながらさらなる充実に努力する。

## 9. つちまる学習塾について

Q つちまる学習塾の利用者を増やすために、開催地区の拡大と、こども食堂を兼ね合わせたらどうかと思う。また、講師には各地区に住んでいる学校長OBの方々の人材を活用するなど、さらなる充実を図っていただきたい。

A 学習支援事業のつちまる学習塾については、昨年度から実施され、現在、20名の利用者がいる。また、国や県の支援の他に、この事業のために100万円の寄付をしてくださった市民の方もいる。全国的に子どもの貧困が社会問題になっている中で、生活困窮者の方のお子さんを支援していくということが大きな目的である。ご提案していただいたことを踏まえ、この事業の充実を検討していく。なお、スタッフとして学習指導には、ボランティアの方々をお願いしている。

## 10. 胃がんリスク検査について

Q 胃がんリスク検査の中で対象者が40歳から70歳となっているがこれは何か理由があるのか。

A 胃がんリスク検査は、40歳から70歳までの方がいつでも検査できるということではなく、40歳から5歳刻みで検査を希望される方が受

<p>主な意見 ・提言等</p>	<p>診できる制度である。75歳になると医療制度が変わり自己負担が少なくなるので対象外となっている。</p> <p><b>11. 農産物ブランドアップ事業について</b></p> <p>Q 市が検討している農作物ブランドアップ事業は、名産品のレンコンや花などに特化したブランドではなく、いろいろなものを土浦市のブランドとするような考え方が見える。全国に誇れるものを一つか二つに特化して商品を絞り込んでこの事業を推進していくべきではないか。</p> <p>A 始まったばかりの事業なので、具体的な施策は本年度から出していくことになる。28年度に皆さんからさまざまなご意見をいただいております、それを基に基本計画の概要を策定し、本年度は、その概要に従って具体策を提案していくことになる。都市と農村の交流、農林水産の加工品、人が集まる拠点という3点を掛け合わせて土浦の魅力を発信していくことがこの事業である。いただいた意見を参考に委員会でも検討していく。</p> <p><b>12. 神立駅西口地区土地区画整理事業、神立停車場線街路事業について</b></p> <p>Q 神立駅前広場が区画整理で広くなり国道6号線と直結すると、大型車などの交通が増え混雑が予想される。なぜ周辺道路の整備をする前に国道6号線からの道路整備を実施するのか。また、駅前広場の区画整理事業はいつごろまでに移転し整備されるのか。</p> <p>A 国道6号線から神立駅を結ぶ神立停車場線が先行して整備されても駅周辺の道路整備がされていないことについては、計画では周辺の都市計画道路の整備も実施する予定だが、地権者の関係や予算処置などの問題点もあるため必ずしも同時進行できないのが現状である。また、駅前広場の進捗状況については、土地の買収状況は99パーセント終了している。今後、議会もこの事業を注視していく。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成29年5月22日

土浦市議会議長 矢口 清 殿

土浦市議会議会報告会実施要項第9条第1項の規定により提出します。

土浦市議会広報広聴委員会 委員長 小坂 博